

一般質問



企業誘致で雇用の創出を

財政改善にもう一段の踏み込みを

田口喜義

質問

皆さんご承知の通り地域経済は瀕死の状況である。明るい方向に進むには雇用の創出をしなければならぬ。難しい課題ではあるが企業誘致を手を緩めず進めてもらいたい。

市長

企業誘致は精力的に取り組んでいる。県の大規模工業団地の誘致候補地では一位になれなかったが駄目だということではない。二番目の評価を頂いたので引き続き誘致に大いに取り組んでいく。

種苗交換会を開催すべし

質問

仙北市の産業に活力を与える為、種苗交換会を行う考えはないか。

市長

合併後間もないのでいまだ踏み込めていない。しかし、前向きに検討していきたい。

質問

観光資源やブランド情報の、農産物データベースの開設時期はいつか。アンテナショップの担当部署はどこか、また主な販売品目は何か。

市長

アンテナショップは行政の担当は農政部の商工課である。農業の生産者の方たちが作ったものを首都

圏で売るのが一つの大きな目標である。重点プロジェクトの推進室も産業連携の形で取り組む。

質問

近年宿泊者数が高原の保養所などは二十の施設が現在四施設と激減した。田沢湖ハイツ等の空き施設を市が他に斡旋できないか。また、何らかの形で国際観光に利用できないか。

市長

外国人宿泊客数では東南アジアが一番多いし着実に伸びている。言葉や接遇の問題、受け入れ態勢の整備をし、力を入れていきたい。施設の斡旋については今後検討したい。いずれにしても職員・市民からのアイデアを頂きながら進める。

財政改善策は本庁舎建設時期は

質問

市政方針では分庁舎を本庁舎整備に方向付けをし、行政改革大綱に沿って行政評価制度を活用しコンパクトで効率的な市役所を実現し財政危機を脱却すると説明があったが、この目標時期はいつか。また、類似団体の職員数は人口千人に九、四七人だが、仮に十人としても当市に当てはめると三百二十人

である。適正化計画に照らすと職員数は五百七十九人が今期退職数十五人で五百六十五人となり目標を上回っているというが、今後の調整する職員数とその時期について伺う。給与の格差是正はどうなっているか。

市長

本庁舎については、十九年度予算調査を行った。二十年度は規模・機能・場所・建設年度等を絞って示したい。

現在の起債残高は二百七十四億円だが、これが膨れないようプライマリーバランスの黒字を保ちながら全体的な市の事業計画、予算編成を行った。

給与格差は合併前調整仕切れなかった部分があるかと思うが、逐次調整してきており、現在職員の処遇については職務に合った給与体系として一本化して進めている。

やる気は全職員一丸で

質問

市長として職員にやる気をもたせるため、人事、仕方、仕組みをつくることと思うがメッセージをどのような方法で職員に周知徹底しているか伺いたい。

市長

問題が生じたり、課題があるごと部長級メン

バーで政策調整会議を月一回行っている。

部長を通じ基本的な考え方を各課、職員につたえてもらう。その他、年に数回、課長以上の管理職の全体会議を設け伝える機会をつくっている。その会議の内容は全職員に伝わる仕組みになっている。当然御用始めにあたって三庁舎ならびに職員の多い角館総合病院で年頭の訓示をおこなっている。質問の趣旨は職員に考えが伝わっていないとのご心配と受け止め、状況把握に努め情報を全職員共通の認識を持って受け止められるよう努力する。



高原の空き施設の活用を